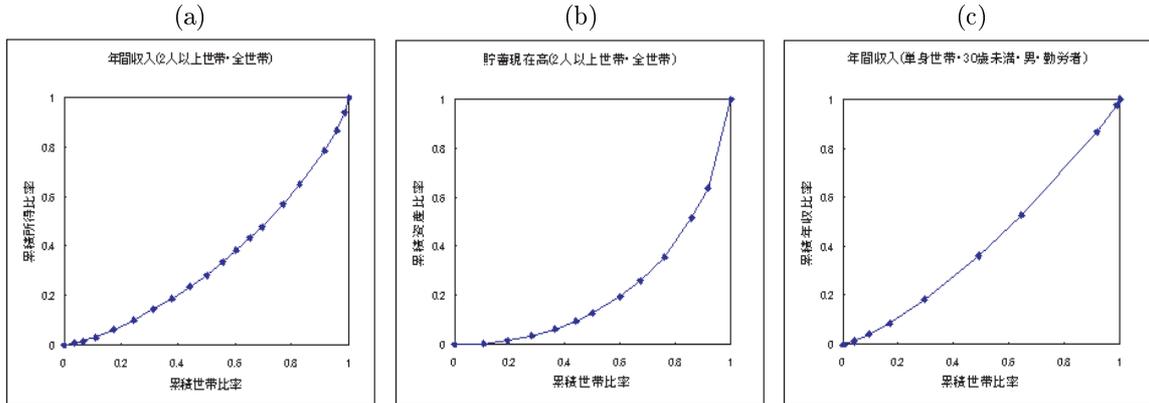


統計学基礎 練習問題

第15回 2変量データの記述 (4)

2012年11月19日

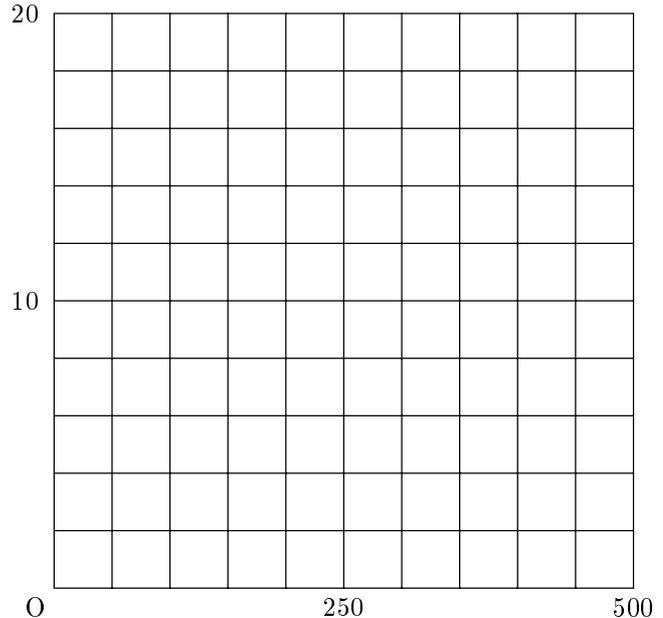
問1 以下の3つの図は「全国消費実態調査」(平成16年)の結果から、年間収入(2人以上・全世帯)、貯蓄現在高(2人以上・全世帯)、年間収入(単身・男、30歳未満・勤労者世帯)についてのローレンツ曲線を描いたものである。それぞれのローレンツ曲線に対応するジニ係数の値を記号で答えよ。



ジニ係数 あ 0.547 い 0.173 う 0.312

問2 下の表は、あるばねばかりにつけるおもりの重さ (g) とばねばかりの全長 (cm) の関係をあらわしたものである。これを散布図にあらわし、以下の各問に答えよ。

重さ (x)	全長 (y)
0	5
50	6
100	7
150	8
200	9
250	10
300	11
350	12
400	13
450	14
500	15



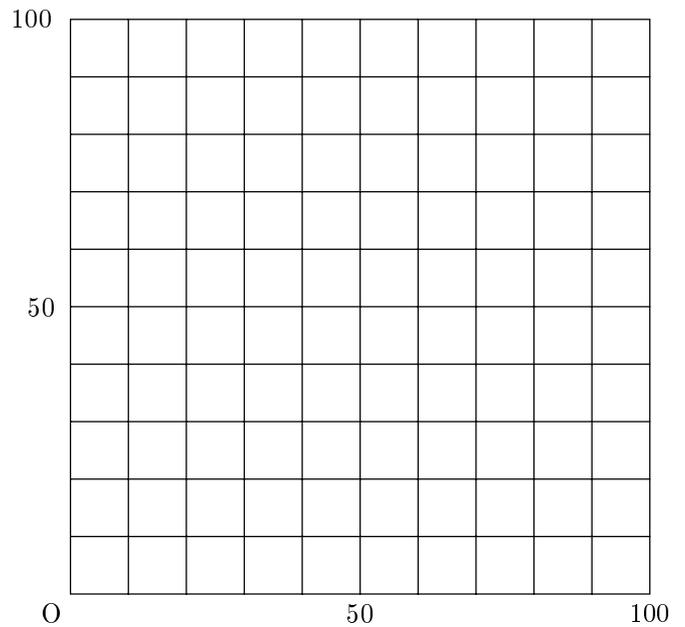
- おもりの重さとばねばかりの全長の関係をあらわす直線を散布図に描き入れよう。この直線の式は

$$y = \boxed{} + \boxed{} x$$

となり、 $x = 800$ のとき、 $y = \boxed{}$ {(a) となる。(b) に近い値をとる。}

問3 下の表は、あるクラスの英語の点数と国語の点数との関係をあらわしたものである。これを散布図にあらわし、以下の各問に答えよ。

英語 (x)	国語 (y)
60	60
0	45
80	70
10	35
40	55
20	50
50	65
70	80
90	85
30	40
100	75



- 英語の点数と国語の点数の関係をあらわす直線を散布図に描き入れよう。この直線の式はおよそ

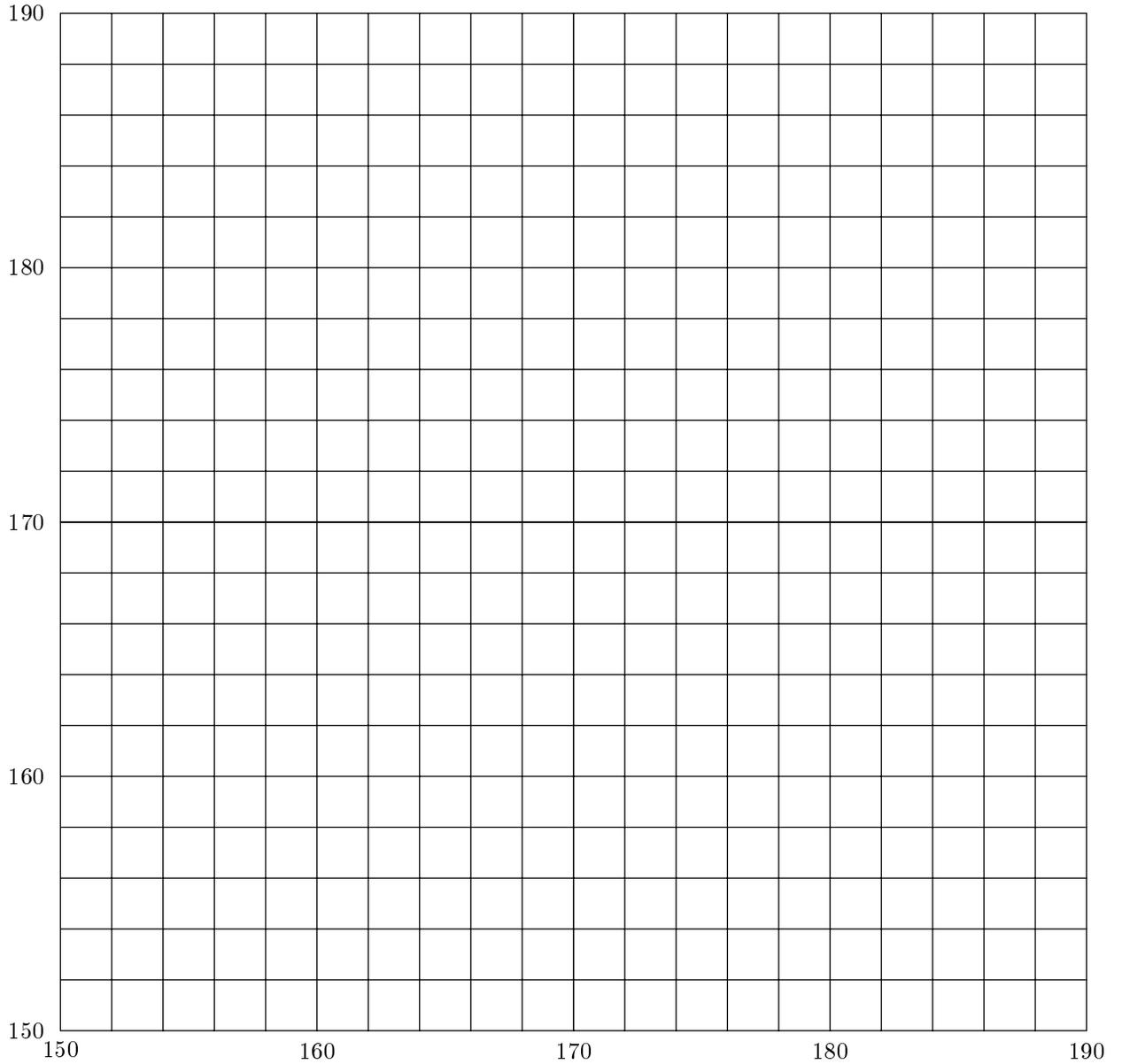
$$y = \boxed{} + \boxed{} x$$

となり、 $x = 85$ のとき、 $y = \boxed{}$ {(a) となる。(b) に近い値をとる。}

問4 下の表は、10組の父子の身長をあらわしたものである。下記の各問に答えながら、下の表の空欄を埋め、右ページの散布図に描きいれていこう。

番号	父親 (x)	息子 (y)	$x_i - \bar{x}$	$y_i - \bar{y}$	$(x_i - \bar{x})^2$	$(y_i - \bar{y})^2$	$(x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})$
1	160	165					
2	179	181					
3	166	171					
4	173	173					
5	156	163					
6	164	169					
7	176	174					
8	185	179					
9	170	172					
10	171	173					
				計			

1. 父親の身長と息子の身長を下の散布図に描き入れよ。



2. 父親の身長と息子の身長のそれぞれについて、算術平均 \bar{x}, \bar{y} を求めよ。

3. 前ページの表の空欄を埋めよ。

4. 父親の身長と息子の身長の間、 y (息子の身長) = $a + b x$ (父親の身長) という関係を想定し、最小 2 乗法を用いて係数推定値を求めると、

$$y = \boxed{} + \boxed{} x$$

となる。この式の空欄をもとめ、さらにこの直線を上の散布図に描き入れよ。

5. 決定係数 R^2 を求めよ。